

令和5年度 延岡市旭小学校 学校評価書

4段階評価 4 よくあてはまる 3 ややあてはまる 2 あまりあてはまらない 1 全くあてはまらない

|             | 評価指数                 | 自己評価 | 関係者評価 | 学校関係者の評価コメント  | 学校の自己評価及び関係者評価に対する今後の対策・方針   |
|-------------|----------------------|------|-------|---|--|
| 学校の取組に対する評価 | 1 教育目標の共有            | 4    | 4     | ○ 私たちも、「学校だより」や「旭小ブログ」で毎日学校での取組等学校での児童の様子がよく理解出来ます。共有が図れていると評価します。地域学校協働活動推進会議でも他校にPRしている所です。   | ○ 今後も教育目標や方針等については、学校だよりや各学年・学級通信、ホームページ等で随時発信することで、しっかりと共有していきたい。   |
|             | 2 学力向上の取組            | 3    | 3     | ○授業中の児童は、話を聞くとときと活動するときと区別がよくついています。<br>○先生方の学校内での相互参観、はげまし隊の皆さんの協力を通して、今後も、授業改善を行い学力向上に取り組んでください。  | ○学年部内での相互参観等を通して授業改善を行っていくとともに、授業の中で習熟の時間を確保し、基礎基本の定着を目指す。<br>○はげまし隊の協力も得ながら、きめ細やかな学習指導を行っていく。   |
|             | 3 豊かな心をもつ子どもの育成      | 3    | 3     | ○郷土の自然や文化、伝統に触れる学習を増やしてほしい。<br>○体験学習（活動）として、地域の高齢者の方々とかお話を出来る場をつくっていただくと、更に、豊かな心を持つ児童の育成につながると思われる。今後も、キャリア教育の拡充、充実をお願いします。花壇の手入れ（管理）や学校内の美化活動（ごみ）も豊かな心を育てて大仕事です。   | ○道徳の時間や体験活動を充実させるとともに、各学年年間1回以上は、外部講師を招聘したキャリア教育に関する授業を展開し、キャリア教育の充実を図る。<br>○地域の自然、文化、伝統に触れさせる教材を通して、豊かな心を育む教育を充実させる。                                    |
|             | 4 いじめや差別のない人間関係づくり   | 3    | 3     | ○難しい課題ではありますが、いじめや差別があつてはならないと思います。立ち番をしていると特にそう思います。泣いて登校する児童を見かける時がありますが、もしかしらたともあります。言葉のいじめもありますので大変と思いますが、日々の観察をお願いします。   | ○毎月行っている悩みアンケートや日々の児童観察、学期1回の教育相談をはじめ、全教育活動を通して、いじめや差別意識をなくす取組を充実させる。<br>○月に一回、情報交換の場を設けることで共通理解を図り、指導にあたる。  |
|             | 5 体力向上の取組            | 3    | 3     | ○現状は、社会環境（不審者、他）や遊び場（公園）等の問題もあり、学校以外思い切り遊べる場所が以前に比べ減少している。学校での、体力向上に向けた取組をお願いします。   | ○体力テスト結果の分析に基づいたスクールスポーツプランに沿って、体育科学習等で体力の落ちている内容について指導を充実させる。<br>○本校の課題である持久力向上に向けて、体育の授業での5分間走、縄跳び運動など全校で取り組んでいく。                                      |
|             | 6 学校の感染症対策           | 3    | 3     | ○感染拡大を防止する上からも、この対策しかありませんね。  | ○今後も、感染症対策に関する保護者への啓発を保健だよりやメール等を活用して積極的に行っていく。  |
|             | 7 給食指導等食に関する指導       | 3    | 3     | ○食事の献立により好き嫌いのある児童もいると思いますので、食育の授業実践と栄養指導を宜しくお願いします。楽しく食事が出来るのがなによりです。  | ○望ましい食生活・食習慣の定着を図るために、全職員による給食指導の充実及び栄養職員と連携した食育の授業実践と指導の充実を図る。  |
|             | 8 保護者・地域との連携         | 4    | 4     | ○学校・地域・家庭との連携という点においては、他の学校と比較しても非常に充実した協力体制が整っていると感じています。今後、CS運営においても、多様な世代が会での検討や、それぞれにとって有益な情報共有ができることを期待しています。<br>○旭小校区は伝統的に学ぶ環境が整っているため、現在のよい状況を科学的に分析して、積極的な手立てを取っていけば、望ましい学校運営が継続できると思います。<br>○保護者とボランティアの皆さんとの懇談の機会を計画すると更に、連携強化になるのではないかと。           | ○今後もコミュニティスクールの推進や、PTA、学校安全ボランティア、はげまし隊等との連携を充実させ、学校・家庭・地域が一体となって、児童の健全育成、学校の教育目標の実現に向けて取り組んで行く。<br>○保護者と安全ボランティア、職員との意見交換ができる場を検討していく。                  |
| 子どもたちに対する評価 | 9 授業中の学習態度           | 3    | 3     | ○参観日に出席して、全学年、学級を参観しているが、タブレットが導入されて確かに授業に取り組む姿勢は向上していると感じる。先生の話をよく聞き、回答、意見を述べている。特に、英語の授業では楽しみながお互いが声を出して発言している。   | ○児童の実態を指導者がしっかりと把握し、ICT機器も活用しながら、児童の実態に応じた授業づくりを行っている。   |
|             | 10 家庭学習の取組           | 3    | 3     | ○最近では、新型コロナウイルス、インフルエンザの感染により学校を休む児童が増加傾向にあります。従って、家庭での学習も増えタブレットによる授業が必須になると思います。（保護者不在時の対応が課題?）   | ○今後、メディアコントロールを指導しながら、ICT機器(タブレット)による家庭学習も取り入れていく。   |
|             | 11 読書                | 3    | 3     | ○朝立ち番していると、保護者の方が「今日は、読み聞かせに行つて来ます」と言っておられました。家庭と連携して児童の読書意欲を図られていることは評価出来る。また、ブログで読書に関する動画が紹介されているのを観ても学校の熱意が伝わる。  | ○朝の読書の時間や読み聞かせ(むいくまむ)、週末読書等を通して、家庭と連携した家読等の取組を継続し、児童の読書意欲を高めていく。   |
|             | 12 笑顔で明るいあいさつ        | 2    | 3     | ○旭小学校の子どもたちは、来校時や学校以外でも、積極的に挨拶をしてくれる児童が多い。横断歩道で止まってくれた運転手にお礼を言う児童もいて素晴らしいです。日頃の先生方や地域の方の指導の成果だと思います。「何のためにあいさつをし、どんな場面で必要になるのか」ということを示し、それらを理解した上で実践できるように取組を今後も期待しています。<br>○あいさつを返すことはできるが「自ら進んで」という点では、まだ、十分とは言えない感じがします。児童が進んで挨拶をしたくなるような手立てを考える必要があるようです。 | ○まず、教師等の大人が笑顔で明るくあいさつをする。また、あいさつの大切さや意味を児童に理解させ、家庭や地域と連携した取組を継続する。<br>○旭小コミュニケーション(あいさつ・読書・メディアコントロール)の家庭への周知を図り、児童会等の話し合いを通して、「自ら進んで」あいさつができる児童を育成していく。 |
|             | 13 思いやりのある言葉かけ       | 3    | 3     | ○教師の皆さん、児童を含め思いやりの言葉で接する事で、不登校、いじめを回避出来ると思います。是非、日頃からの指導をお願いします。  | ○教師がモデルを示したり、道徳教育、常時指導を充実させたりする。<br>○生徒指導の3機能(自己決定・自己存在感・共感的な人間関係)を生かした学習指導、生活指導を行っていく。  |
|             | 14 きまりの順守            | 3    | 3     | ○登校時の通学経路順守をお願いしたい。交通災害を考えた上での経路であることを児童へ随時周知、指導をお願いしたい。（横断歩道の渡り方：全学年共有認識）認識されていない保護者の方もおられる。   | ○全職員が共通実践事項を確実に、同じ温度で継続して指導していく。<br>○学校のきまりを家庭にも示し、家庭と連携して指導していく。<br>○定期的に、通学路の危険箇所の確認と安全な歩行の仕方についての指導を全校で行っていく。   |
|             | 15 基本的な生活習慣          | 2    | 3     | ○基本的な生活習慣やあいさつの自己評価が低いが、児童のあいさつなどきちんとできていると思う。  | ○あいさつや返事、履物並べ、身の回りの整理整頓など、全職員が共通理解のもと指導するとともに、家庭や地域と連携した取組を継続する。<br>○記名の日を設定して記名を徹底させ、物を大切にすることを身に付けさせる。   |
|             | 16 楽しい学校生活           | 3    | 3     | ○確かに、児童にとって楽しい場所は学校だと思います(友達に会える)。児童がそう思えるのも人間関係、また、先生や友達に気軽に悩みや相談が出来る風土が大事だと思いますので、児童に寄り添う指導や支援をお願いします。  | ○生徒指導の3機能(自己決定・自己存在感・共感的な人間関係)を意識した授業を充実させ、児童に学ぶ楽しさを味わわせる。<br>○今後も、なやみ相談や日々の児童観察丁寧に行い、児童に寄り添う指導や支援に努める。  |
|             | 17 体力向上              | 3    | 3     | ○縄跳び運動があまり得意ではなかった1年生も、うまくリズムを取って跳べるようになって来たと感じます。取組の成果が出ているのではないのでしょうか。<br>○朝、立ち番をしていると、始業前運動場で遊んでいる児童達の大きな声が聞こえます。安心します。今、児童の体力低下が言われていますので対策を実践し児童の体力向上に努めて下さい。  | ○遊具の安全な使い方を各学級で具体的に指導するとともに外遊びの励行により、年間を通して元気に運動場で遊ぶ児童を増やし、体力の向上を目指す。<br>○児童一人一人、体力向上に向けた目標を設定し、体育の時間等でその目標達成に向けた各種運動に取り組ませる。                            |
|             | 18 早寝・早起き・朝ご飯等の生活リズム | 3    | 3     | ○今後も家庭での生活リズムが整うよう、保健だよりや学級懇談会など保護者と連携を取りながら指導を継続して行ってほしい。  | ○家庭での生活習慣については、学級での指導、保健だよりや学校保健委員会、学級懇談等を効果的に活用しながら、今後も保護者と連携した取組を行っていく。  |
|             | 19 メディアコントロール        | 2    | 3     | ○なかなか難しい課題です(評価が低い)。今後も継続して、学校と家庭(保護者)が密に連携し、課題を共有して取り組んでください。(保護者と児童が向き合って)  | ○メディアコントロールについて、授業や学校保健委員会で取り上げ、家庭への啓発を行っていく。<br>○メディアコントロール週間を今後も設定し、学校と家庭と連携して推進していく。  |
|             | 20 児童の感染症予防の取組       | 2    | 2     | ○アンケートにおいて児童・職員・保護者の評価結果に差がある。認識のずれをフラットに近づけるために、児童に対して具体的なヒアリングをする必要があるのではないかと。  | ○手洗いうがいの習慣化を図るために、教師の声掛けを徹底していく。<br>○保健委員会の児童が、実態調査や啓発活動を主体的に行い、課題を自覚できる手立てを考えていく。   |